

「HP掲載文」

2004年2月から2015年8月までの期間に川崎医科大学附属病院

で脳梗塞（ラクナ梗塞）と診断された患者さんへのお知らせ

課題名：ラクナ梗塞患者における右左短絡と脳卒中再発リスクの検討

1. 研究の対象

2004年2月～2015年8月の間に、当院においてラクナ梗塞と診断された方。

2. 研究目的・方法

卵円孔という小さな穴が心臓の中に残存していることが脳梗塞再発のリスクとなりうるか明らかにすることが目的です。後方視的研究であり、研究期間は、2016年4月11日から2018年6月30日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。収集する情報は、卵円孔開存の有無、カルテ情報、再発の有無等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先、研究責任者：

住所 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577

電話 086-462-1111

担当者：所属 脳卒中医学 職名 教授 氏名 八木田佳樹

5. 利益相反

この研究の関係者の中にはファイザー（株）、大塚製薬（株）、MSD（株）、大日本住友製薬（株）、バイエル薬品（株）、第一三共（株）、サノフィ（株）、塩野義製薬（株）、田辺三菱製薬（株）、エーザイ（株）より奨学寄附金の受け入れ、第一三共（株）、サノフィ（株）より講演料の受け取りがありますが、利益相反委員会に申告を行い適正に管理されています。尚、上記企業は本研究とは直接的には関係のない企業であります。